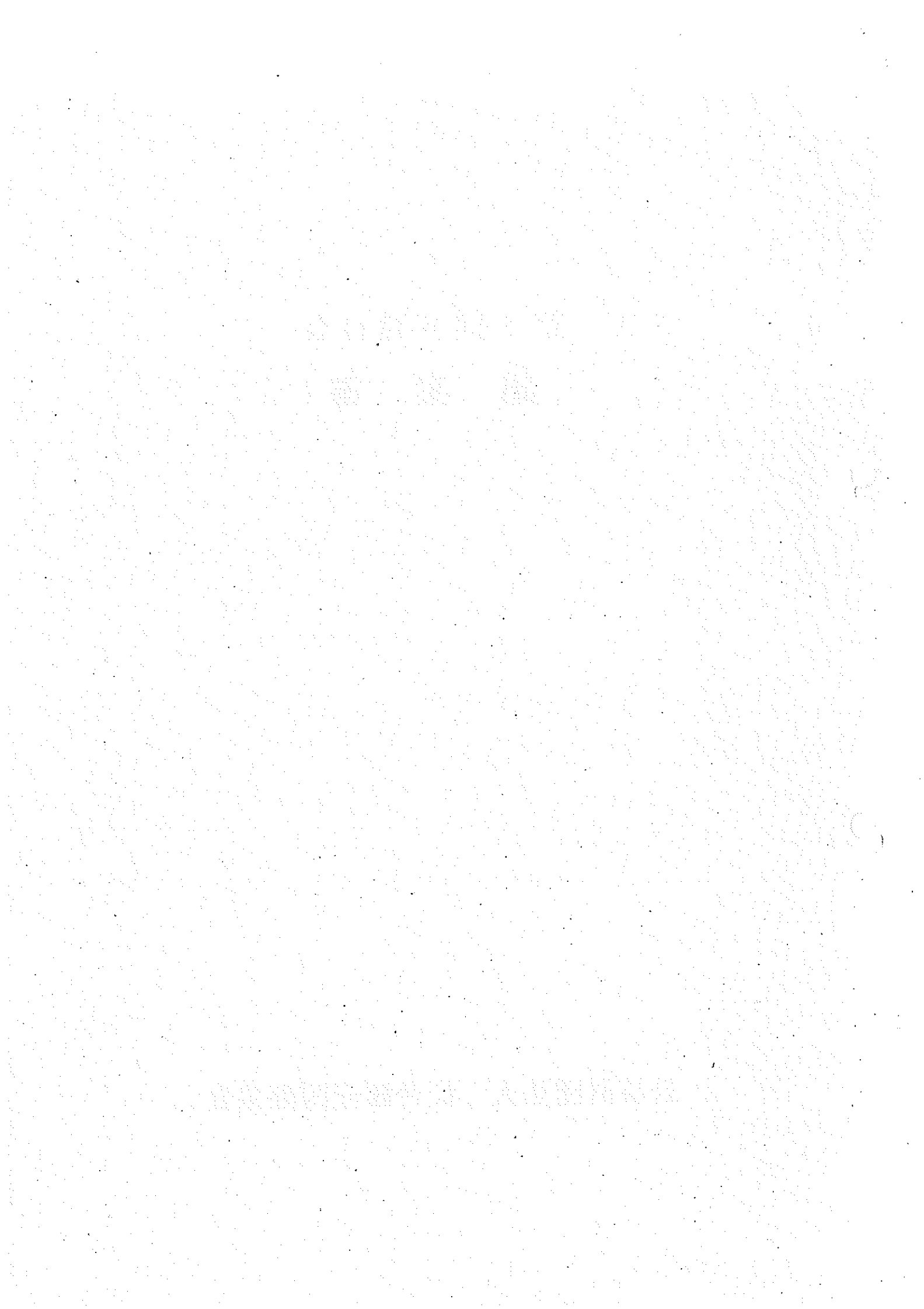


第 8 回 評 議 員 会  
議 案 書

公益財団法人 仙台観光国際協会



## 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算に関する件

公益財団法人仙台観光国際協会定款第8条第2項の規定に基づき、平成30年度事業報告及び決算について承認を求めらる。

### I. 平成30年度事業報告

#### [公益事業等]

#### 1. 観光振興に関する事業

観光客誘致により地域活性化及び国際交流活動の促進を図るため、各種事業を展開した。

##### (1) 海外プロモーション事業

行政及び民間企業等と連携して、アジア等地域からの外国人観光客誘致拡大を図ることによって国際交流の促進と地域経済の活性化を目指し、各種事業を実施した。

##### ① 誘致事業

プロモーション対象となるアジア等の都市において、観光目的地としての仙台の認知度を高めるため、仙台の魅力をも市民向けにPRした。また、仙台の旅行商品造成や現地の雑誌等へ仙台の記事掲載を促すため、相手国の旅行エージェントやメディアを対象に誘致PR事業を実施した。

##### i. 旅行博覧会・商談会等参加助成事業

タイで6月及び3月に開催したセミナー・セールス等に、仙台へのインセンティブツアー誘致のため参加する企業に対して、渡航費用の一部を助成した。

##### ii. 台湾、タイでのプロモーション事業

##### ア 台湾、タイでの見本市への出展

- ・台湾：大台南国際旅行博 平成30年11月16日(金)～19日(月)
- ・タイ：タイ国際旅行博第23回 平成30年 8月 9日(木)～12日(日)
- タイ国際旅行博第24回 平成31年 2月13日(水)～17日(日)

##### イ 台湾、タイへの各種団体・組織と連携した誘致営業

- ・仙台市タイ国誘客促進サポートデスクと連携したタイセミナー・商談会及び現地エージェントセールス実施(6月)
- ・仙山連携による台南市旅行商業同業公会とのエージェントセールス実施(9月)
- ・仙山連携による台南セールス実施(11月)
- ・タイ旅行業協会とのBtoB商談会及び現地エージェントセールス実施(2月)

##### iii. 日本国内での商談会への出展

##### ア タイ現地旅行エージェント関係者を招請し、商談会を実施

- ・招請期間：平成30年11月14日(水)～18日(日)
- ・招請者数：17社17名
- ・参加団体数：日本側14団体21名

イ 台南市現地旅行エージェント関係者（含むメディア1社）を招請し、商談会を実施

・招請期間：平成31年1月16日（水）～20日（日）

・招請者数：13社15名

・参加団体数：日本側15団体25名

#### iv. WEBを活用したインセンティブツアーの情報発信

インセンティブ専用ホームページにおいて、支援等の情報発信を行うことにより、インセンティブツアーの誘致を図った。

#### v. インセンティブツアー支援メニュー事業

仙台に宿泊するインセンティブツアーへ各種おもてなしメニューを提供した。

・提供件数26件（タイ11件、台湾14件、シンガポール1件）

## ② 受入整備事業

海外からの旅行者が仙台に滞在中、快適に過ごすことができるよう、行政や民間企業と連携し環境整備を図った。

### i. 訪日外国人客受入整備事業

訪日外国人旅行者の受入れ環境の整備強化を目的に、観光関連事業者のマネジメント層及び物産販売施設・宿泊施設・飲食施設等を対象に訪日外国人観光客の受入セミナーを開催した。

平成30年度外国人観光客対応力向上セミナー

・第1回 海外ソーシャルメディア・SNSにおけるクチコミ活用と仙台におけるインバウンドの取組と工夫 平成30年11月 8日（木）65名参加

・第2回 接客中国語会話（物販編） 平成31年 1月15日（火）24名参加

・第3回 接客中国語会話（宿泊編） 平成31年 1月30日（水）18名参加

・第4回 接客中国語会話（飲食編） 平成31年 2月 7日（木）21名参加

## (2) 国内プロモーション事業

行政及び民間企業等と連携し、観光客の増加を図ることによって地域経済の活性化を目指し、仙台の来訪を促す各種事業を実施した。

### ① 観光行事等開催支援事業

仙台の観光振興の促進のため、地域観光行事等に対し協賛負担金を拠出した。

#### i. 観光行事等開催支援事業

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI光のページェント等の実行委員会と連携し、お祭り・イベントの開催支援を行った。

### ② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く、かつ仙台のイメージアップにつながる観光関連企画やプロスポーツについて、貴重な観光資源としてこれらの事業と連携し、仙台の魅力づくりと誘客促進のための条件整備を行うとともに、当該事業推進により観光客の増大を図った。

#### i. 東北絆まつりへの参画

「東北絆まつり 2018 盛岡」において、仙台市の観光PRブースの運営及び仙台・宮城の飲食ブース出店者の募集、選定を行った。

#### ii. 宮城県観光キャンペーン 2018 への参画

仙台・宮城「伊達な旅」夏キャンペーン 2018 (7月~9月) 及び同冬キャンペーン 2018 (12月~3月) に併せた取り組みを行ったほか、仙台での滞在満足度を高めるため、関係機関と連携し各種事業を実施した。

#### iii. 旅行商品造成助成事業

首都圏からの誘客促進を目的に旅行会社商品パンフレットへの仙台の観光情報等の掲載を条件に、パンフレット作成費用の一部助成(年2回)を行った。全国展開を図っている旅行会社6社の上期商品(4月~9月)、下期商品(10月~3月)の個人型企画商品を対象に実施した。

#### iv. プロスポーツによる誘客

プロスポーツを活用した誘客、情報収集を目的に仙台プロスポーツネットと連携を図った。

#### v. 観光誘致セールス事業

- ・平成30年4月10日(火)~4月11日(水)実施、商品企画造成部門7社及び旅行図書出版社2社訪問
- ・平成30年10月11日(木)~10月12日(金)実施、商品企画造成部門7社及び旅行図書出版社2社訪問

#### vi. アニメコンテンツを活用した誘客事業

アニメ作品「Wake Up, Girls!」を活用し、「Wake Up, Girls! パネル展」を実施した。

- ・平成31年2月22日(金)~25日(月)の4日間実施、約1,600名来場

### ③ 教育旅行受入促進事業

仙台市内の教育旅行に対応できる関連施設(宿泊施設、博物館、工場等)と連絡・調整を行い、関連情報を把握、整理するとともに、本市の教育旅行に関する問合せや相談に関して、市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また、他県の旅行会社や学校に対して、行政や民間企業等と連携し、セールス活動の展開及び現地説明会を実施するなど、総合的な誘致活動を行った。

#### i. 修学旅行誘致キャンペーン事業

ア 北海道からの中学校教育旅行誘致を目的に、現地プロモーションを仙台市、宮城県、宮城県観光誘致協議会と連携して実施

【札幌会場】

- ・平成30年12月5日(水)実施、旅行会社8社及び中学校19校参加

【函館会場】

・平成30年12月6日(木)実施、旅行会社4社及び中学校1校参加、セールス7校訪問  
イ 東北観光推進機構「東北教育旅行誘致部会」と連携し、教育旅行誘致事業に参画

ウ 伊達な広域観光推進協議会と連携し、教育旅行説明会やセールス活動に参加

【関西圏旅行代理店説明会及び代理店訪問】

- ・平成31年2月6日(水)~7日(木)実施

エ 東北地区への教育旅行誘致を目的に各旅行会社へ誘致活動を実施

【名古屋地区教育旅行誘致セールス】

・平成30年11月7日(水)～8日(木)

#### ④ 観光客受入整備事業

仙台市内の周遊を促すためのパンフレット等の作成及び設置、受け入れ体制の整備・充実を図るための事業を行った。また、仙台の歴史や魅力を伝える「観光ボランティアガイド」を支援し、観光客の受入れ体制の強化を図った。さらに、観光客誘致支援団体等(東北観光推進機構、仙台まるごとバス運営協議会等)への会費負担を行うとともに、これらの組織と事業連携を図りながら観光客受入のための環境整備をすすめた。また、観光客受入において重要な宿泊施設との連携について、各宿泊関連施設と密接な情報交換ができるようネットワークの強化を行った。

##### i. クーポン付街歩きMAP事業

街歩き観光の推進と中心部の活性化を目的に市内中心部の飲食・お土産品販売店舗等の協賛と宿泊施設の協力により、宿泊のお客様を対象にクーポン付街歩きMAPの配布を行った。

・協賛店舗36社41店舗、配布先宿泊施設59施設

##### ii. 手ぶらで観光便事業

観光客の快適な旅のサポートを目的に、ヤマト運輸と連携し、市内中心部・秋保温泉・作並温泉・松島エリアの宿泊施設を対象に即日手荷物をお届けする有料サービスの広報を実施した。

##### iii. おもてなし大作戦事業(※「すずのすけを探せ!!」情報発信事業)

仙台・青葉まつりの公式キャラクター青葉すずのすけが市内観光施設等を訪問し観光客との記念撮影等でふれあいながら、「仙台・青葉まつり」や「仙台・宮城伊達な旅」夏キャンペーン等の観光情報発信を実施した。

##### iv. 観光ボランティア活動促進事業

ア 観光ボランティアガイドの活動促進を目的とした助成事業の実施

・6団体の7事業に助成

イ 「観光ボランティアガイドと行く!!伊達な名所巡り」の実施

・10月27日～12月9日の土・日・祝(計15日間)実施、6,737人案内

・実施箇所:瑞鳳殿、仙台市博物館、仙台城跡、大崎八幡宮、北山五山、陸奥国分寺薬師堂

ウ 仙台市観光ボランティアガイド観光・おもてなし研修会

・第1回 「ボランティアガイドとは」 平成31年 1月19日(土) 33名参加

・第2回 「仙台の観光の現状」 平成31年 2月 3日(日) 37名参加

・第3回 「エンタメによるおもてなし」 平成31年 2月17日(日) 29名参加

##### v. 街角案内所事業

観光客の利便性を向上させるため、街角案内所21施設に対する定期的な情報提供とパンフレット類の提供(通年)を行った。

##### vi. 他団体との連携による情報発信事業

スポーツコミッションせんだいへ参画し、観光情報の発信及び受入環境の向上に向けた条件整備を行った。

## vii. 事務局運営

仙台圏の二次交通商品である「仙台まるごとバス」と「るーぶる仙台」の宣伝・販売促進を目的に設立された「仙台まるごとバス運営協議会」並びに「仙台市観光シティループバス運行協議会」事務局の運営を担った。

### ア 仙台まるごとバス運営協議会事務局運営

- ・リーフレット，ポスター，特典ブック等の作成と活用
- ・バス販売促進策の推進と広報宣伝の実施
- ・販売実績

期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
枚数	20,120枚(前年度比99.2%)

### イ 仙台市観光シティループバス運行協議会事務局運営

- ・リーフレット等の作成と活用
- ・乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施
- ・利用実績

期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
乗車人員	584,558名(前年度比108.2%)

## (3) 仙台西部地区観光振興事業

仙台の観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため、各種事業を展開した。

### 【各地区共通】

#### i. 「仙台西部観光振興推進協議会」及び「仙台西部観光振興推進連絡会」の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図る上でのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」と、同協議会の協議内容等についての情報共有等を図る仙台市及び当協会の担当組織「仙台西部観光振興推進連絡会」の事務局運営を行った。

#### ii. 地域活性化支援事業

仙台西部地区で活動する団体が、観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を目的に実施する事業に対して、経費の一部を助成し地域活動の促進と活性化を支援した。

項目	件数	金額
秋保地区	8件	4,527,000円
作並・定義地区	6件	4,765,000円
泉西部地区	2件	667,000円
合計	16件	9,959,000円

#### iii. 仙台西部地区観光振興ご用聞き事業

仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を図り、観光振興策の創出等に繋げた。

#### iv. 仙台西部地区広域マップ作成事業

仙台西部地区を網羅したクーポン付マップを作成配布し、観光客入込数増加を図った。

- ・印刷部数 11,000部

#### v. 外国人客対応力向上事業

外国人観光客が仙台西部地区の宿泊施設等で快適に過ごせるよう、せんだい留学生交流委員等の協力のもと、留学生等が外国人旅行者としてホテル等観光施設を訪ね、スタッフに外国語で様々な質問をすることで、スタッフの外国人客対応力向上を図った。

- ・実施件数 12回
- ・実施施設 3施設(定義1, 泉西部2)
- ・派遣人数 延べ13名

#### vi. 仙台西部地区体験型観光資源開発事業

仙台西部地区の自然環境等の地域資源を活用した体験可能な観光メニューの紹介サイト「仙台里山ライド」の更新, サイクルツーリズムの環境整備等を行った。

#### vii. 仙台西部地区観光展

仙台西部地区の観光事業者で組織する「仙台西部観光振興推進協議会」と連携し, 同地区の魅力ある観光資源の情報発信と認知度アップ及びファン・サポーターの増大を図るため, JR仙台駅において観光展を開催した。

- ・開催日 平成30年9月17日(月・祝), 18日(火)
- ・来場者数 約11,000名(2日間)

### ① 秋保地区の観光振興に関する事業

仙台市秋保地区の観光振興を目的に, 地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに, 当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。また, 観光に関わる設備(街路灯・観光看板等)の管理を行い, 観光客を適切に迎え入れる環境整備を実施した。これらの事業推進のため, 地域と密接な情報交換を行う会議を定期的実施した。

#### i. 秋保地区観光施設等管理事業

秋保温泉の案内誘導柱, 街路灯施設及び観光こけし塔の修繕, 維持管理等を行った。

#### ii. 秋保温泉郷旅あるきマップ等作成事業

秋保温泉郷内を散策で楽しめるマップの情報を更新・作成し, 秋保温泉の魅力情報を提供し。

#### iii. 観光行事開催支援事業

下記観光行事の開催支援を行った。

- ・大東岳山開き 平成30年 5月27日(日)
- ・まつりだ秋保 平成30年10月28日(日)

### ② 作並・定義地区の観光振興に関する事業

仙台市作並・定義地区の観光振興を目的に, 地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに, 当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。また観光に関わる設備(街路灯・観光看板等)の管理を行い, 観光客を適切に迎え入れる環境整備を実施した。これらの事業推進のため, 地域と密接な情報交換を行う会議を定期的実施した。



#### i. 作並・定義地区観光施設等管理事業

作並・定義の街路灯施設を管理する団体へ負担金を支出した。観光看板・歓迎こけし塔、歓迎塔等の維持管理を行った。また作並温泉歓迎こけし塔周辺の除草や大倉ダム周辺の桜の剪定をし、環境整備を行った。

#### ii. 作並温泉郷・定義旅あるきマップ等作成事業

作並温泉郷・定義地区を散策で楽しめるマップの情報を更新し、同地区の魅力情報を提供した。

#### iii. 観光行事開催支援事業

下記観光行事の開催支援を行った。

- ・定義如来夏祭り 平成30年8月4日(土)
- ・ほっこり！さくなみ事業 平成31年2月9日(土)、10日(日)

### ③ 泉西部地区の観光振興に関する事業

仙台市泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。これらの事業推進のため、地域と密接な情報交換を行う会議を定期的実施した。

#### i. 泉西部旅あるきマップ等作成事業

泉西部地区を散策で楽しめるマップの情報を更新し、同地区の魅力情報を提供した。

### (4) せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的に、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許認可の簡便化、市民エキストラの手配等を実施した。また支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を実施した。

#### ① せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

##### i. ロケーション撮影誘致と支援業務

国内の映像作品の他、海外作品の支援の問い合わせも受け、関係各所と連携の上対応を行うとともに、仙台・宮城を舞台にした大型作品4作品の撮影支援を実施した。

平成30年度の主な支援作品

- ・映画「風待ち」(2019年6月全国公開作品)
- ・映画「アイネクライネナハトムジーク」(2019年9月全国公開作品)
- ・映画「Last Letter」(2020年全国公開作品)
- ・映画「弥生、三月」(2020年全国公開作品)、他

##### ii. 地元ロケ作品の積極的なPR活動の展開

- ・設立15周年を記念したロケ地マップ「仙台・宮城シネまっぷ」の作成及び配布
- ・映画「ママレードボーイ」を活用したプロモーションの実施
- ・映画「祈りの幕が下りる時」タイアップ事業の実施
- ・映画「寝ても覚めても」監督招請事業の実施

### iii. 地域啓発事業

- ・平成30年度ジャパンフィルムコミッション通常総会の開催  
平成30年10月11日(木)・12日(金)
- ・誌面媒体等を通じたフィルムコミッション活動の告知
- ・仙台短編映画祭2018への参画, 等

### iv. 支援実績

- ・映画, TV番組, CM, 書籍等 支援件数200件(うち撮影実績51件)前年比108%

## (5) 仙台・青葉まつり支援事業

仙台を代表する祭りの一つである仙台・青葉まつりについて, 期間中の観光客拡大を目的に, 仙台・青葉まつり協賛会事務局に関する業務のほか, 伊達政宗公山鉾の巡行に関わる業務を実施した。また, 青葉まつり開催に伴い, 伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」において, 仙台の名品・工芸品を奉納し, 一定期間「瑞鳳殿資料館」において展示を実施した。

### ① 仙台・青葉まつり支援事業

#### i. 第34回仙台・青葉まつりの開催

- ・開催日 平成30年5月19日(土)・20日(日)  
「舞〜杜の都の時代まつり〜」をテーマに実施し, 2日間で約90万人の出入があった。宵まつりの仙台青山鉾及び本まつりの時代絵巻巡行において, 政宗公山鉾の運行を行った。

#### ii. 役員会の実施

- ・開催日 平成31年1月28日(月)
- ・内容 第35回仙台青葉まつりの概要について協議
  - \*開催日 令和元年5月18日(土)・19日(日)
  - \*実施方針 「奉祝 縁をむすび新時代をひらく」をテーマに, 「地域活力を鼓舞する」祭りとして, 盛大に開催する。

## 2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に, 仙台の物産品・名産品等のPR及び仙台の伝統工芸の後継者育成をはじめ, 物産品・名産品等の販路拡大のための支援等を行った。仙台ならではの物産品, 優れた技術をもって製作された伝統的工芸品等に関して, パンフレット等の作成及びWEB上でPRを行った。また, 仙台の工芸品等について, 展示会等の手段を通じ広く一般に公開される機会を提供し, 仙台地域の伝統文化の理解促進を促した。

### (1) 物産振興に関する事業

#### ① 物産振興に関する事業

##### i. 伝統的工芸の後継者人材育成

伝統工芸工人後継者で結成している「匠の会」の工人が出店した「〜明日へ眼差し〜陶×漆×等」への経費助成を行った。

- ・平成31年3月28日(木)～4月3日(水) 藤崎百貨店本館6階 美術ギャラリーにて開催

## ii. 物産関係団体との連携強化

関係団体と連携を図り、賛助会員に対して情報発信及び周知を図った。

- ・連携先：5団体(仙台商工会議所, 全国観光土産品連盟, 宮城県, 公益財団法人仙台市産業振興事業団, 東北経済産業局)

- ・情報発信：15件

## iii. 地元銘品・銘菓や伝統工芸品等の奉納と展示(奉納の会)

地場産業発展の礎を築いた政宗公に感謝の意を表し、今後、益々地場産業が繁栄することを祈念して瑞鳳殿にて開催した。44社が奉納。

## iv. 震災復興支援物産展の開催・協力

東日本大震災以降、復興支援をいただいている全国の自治体や関係団体からの物産展への出展依頼に関し、賛助会員に周知並びに出展調整を行った。

### ア. 東北絆まつり2018盛岡

平成30年6月2日(土)～3日(日) 盛岡市にて開催

### イ. 震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応

対応件数 3件

## v. 物産パンフレット作成と活用

物産関連賛助会員の商品について、県内外に発信することを目的に、観光プロモーションと連動した活用を行った。

### ア. 物産パンフレット「仙台の銘品ガイド」の増刷

増刷部数：73,000部

### イ. マスコミ対応

Google Arts Culture パンフレット「Made in Japan」への情報掲載

玉虫塗(東北工芸製作所)を紹介

## vi. 工芸品育成振興事業「仙台市工芸展」

仙台の伝統的工芸品の展示や制作体験等、工芸品に触れる機会の創出を目的に工芸品の展示販売会を開催した。

2019仙台市工芸展

- ・開催日：平成31年2月15日(金)～24日(日)

- ・開催場所：エスパル仙台本館

## vii. 物産プロモーション事業

物産プロモーション事業として姉妹都市や各種イベントにおいて物産品をPRした。

### ア. 姉妹都市等への物産品PR

実施件数 2件

### イ. 展示会・物産展等出展

## viii. 物産展等出展助成事業

仙台の伝統的工芸品に係る事業等へ助成を行った。

実施件数 1件

#### ix. 「仙台ものづくりフェア」の開催

仙台・宮城の優れた民芸品・工芸品等を市民・観光客へ宣伝することを目的に、展示販売を行った。

- ・開催日：平成30年11月9日（金）～11日（日）
- ・開催場所：LIVE+RALLY PARK（勾当台公園）

### 3. コンベンション推進に関する事業

仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図ることを目的とし、当協会が蓄積してきたネットワークや知識・情報を有効に活用し、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業に取り組んだ。

#### (1) コンベンション誘致・支援事業

##### ① コンベンション助成事業

仙台市内で開催される国際・国内会議の誘致を促すと共に、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与することを目的に、コンベンション主催者を対象に、開催助成、シャトルバス運営助成、開催準備資金貸付等を行った。

項目	件数	金額
開催助成(国際会議, 国内会議)	36件	32,151,000円
市民公開講座開催助成	1件	300,000円
シャトルバス運行助成	0件	0円
開催準備資金貸付	0件	0円

また、一般財団法人みやぎ産業交流センターに対して、6件の小規模国際会議助成金交付の推薦を行った。

##### ② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でコンベンションを開催するメリットなどを宣伝するセールス活動及び招請活動を行うことや、IME（国際 MICE エキスポ）に出展し、仙台の魅力やPRすることでコンベンションの誘致拡大を図った。また、仙台市内の大学等を訪問し情報収集を行うほか、招請活動においては主催者の仙台への来訪費用一部を助成するなどの事業を展開し、コンベンション関連団体と連携して誘致活動を積極的に実施した。

#### i. 国際会議に重点を置いたコンベンション誘致セールス

仙台開催の可能性を有する国際会議関係者への誘致活動及び情報収集を行った。

- ・東北大学 11回（141件）
- ・首都圏 5回
- ・関西圏 1回
- ・海外 1回

#### ii. 国際会議協会（ICCA）事業活用と総会出席による国際会議誘致情報の収集

ICCA のデータベースを利用した情報収集を実施した。また、アラブ首長国連邦のドバイで開催された ICCA 総会に出席し、世界のコンベンション市場の最新の動向や先進都市の開催状況の調査を行うとともに海外のコンベンション関係者とのネットワークを強化した。

### iii. 国際 MICE 見本市 (IMEX) 出展による MICE 情報収集

5月にドイツのフランクフルトで開催された IMEX に出展し、仙台の国際会議開催環境の広報及び誘致活動を行った。

### iv. 国際 MICE エキスポ (IME) による商談と会議情報収集

国内最大の MICE 商談会である IME に出展し、仙台の PR 及び誘致活動を行った。

- ・開催日 平成31年2月28日 (木)
- ・場所 東京国際フォーラム
- ・主催 観光庁, JNTO (日本政府観光局), JCCB (日本コンgres・コンベンション・ビューロー)
- ・仙台ブース来訪団体数 13団体
- ・商談件数 12件

### v. Meet Japan 等コンベンション主催者招請事業の実施

海外の国際会議キーパーソンを仙台に招請し、仙台の紹介及び会議開催環境の PR を実施した。

- ・JNTO 主催国際会議海外キーパーソン招請事業への参加  
2月に仙台へ3名を招請し、その後東京にて8件の商談を実施した。

### vi. 東北地区コンベンション合同誘致懇談会による会議情報収集と商談

東北地区コンベンション推進協議会主催の合同誘致懇談会に出展した。

- ・開催日 平成30年9月6日 (木)
- ・場所 東京・都市センターホテル
- ・全体来場団体数 30団体
- ・仙台ブース来訪団体数 11団体
- ・商談件数 10件

### vii. 東北各県での学会誘致セールスの実施

秋田大学を3月に訪問し、仙台での会議開催の誘致活動を行った。

### viii. 東北大学等キーパーソンへの誘致セールス

国際会議開催の可能性のある東北大学の教授などを訪問し、当協会の支援内容の説明を行った。

- ・訪問件数 120件

### ix. メールマガジン (仙台コンベンションニュース) の発信

仙台のコンベンション関係情報として、当協会の事業の報告やイベントの告知並びに仙台市、仙台国際センターの情報を併載したメールマガジンの発信を行った。

- ・実施回数 7回

### x. 仙台開催に相応な国際会議情報の収集及び誘致活動

ICCA データベース等を活用した情報収集分析並びに、IME 等展示会での情報収集分析及び誘致活動を行った。

### xi. MICE 翻訳事業

展示会出展時のパンフレット、WEB サイトでの情報掲載等において、正確かつ効果的なネイティブ翻訳による広報を実施した。

### ③ コンベンション支援事業

仙台で開催されるコンベンションに対し、その開催に必要な助言・サポート及び仙台紹介のためのツールの提供など、事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施し、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与し開催件数増加につなげた。また、国際会議ボランティアについては育成・派遣を行うなど、仙台でのおもてなしの向上を図った。

#### i. 国際会議ボランティア事業

##### ア 募集

学生の国際会議ボランティアの募集を行い、新規応募者を対象とした説明会兼研修会を行った。

- ・説明会開催日 平成30年6月16日(土)
- ・参加人数 29名

##### イ 派遣

国際会議のホスピタリティデスクや案内対応として、国際会議ボランティアを会場に派遣した。

- ・派遣件数 6件(延べ126名)

#### ii. コンベンションウエルカムボードの掲出

国際会議、全国会議を対象にJR仙台駅2階のウエルカムボードに歓迎表示を行った。

- ・掲出件数 173件

#### iii. コンベンション誘致・支援ツール作成

パンフレット等、コンベンション誘致や支援のツールを作成した。

- ・コンベンションバッグ
- ・文化観光施設割引券
- ・宿泊施設マップ
- ・ランチマップ
- ・ジョギングマップ

#### iv. 会議支援メニューの提供

国際会議及び全国規模の国内会議において、アトラクション、弁当提供、看板作成等のおもてなしメニューの提供を行った。

- ・提供件数 国際会議：2件
- 国内会議：9件

#### v. MICEサポートセンター事業

コンベンション等 MICE 受入の環境改善を目的とした各種情報の収集、セミナー及び研究会の開催を行った。また、支援情報の提供を行った。

##### ア 主催者支援

- ・ユニークベニュー・アトラクション等の映像 DVD の提供
- ・コンベンション参加者向けウェブサイトの運営
- ・国際会議情報の海外発信

##### イ 受入環境レベルアップセミナー開催(観光コンベンションセミナーと同時開催)

ステークホルダー、賛助会員に向けたセミナーを開催した。

- ・開催日 平成31年2月19日(火)
- ・場所 TKP ガーデンシティ仙台駅北
- ・テーマ なぜ?どのように?誰が?どこで?いつ?国際会議を開催するか
- ・参加人数 116名

ウ 会議開催支援についての情報提供

仙台国際センター、仙台市と共催で平成31年2月6日(水)に「仙台コミュニケーションフェア in 仙台国際センター」を開催し、会議関係者に対し当協会の支援内容の情報提供を行った。

エ 仙台コンベンションおもてなし研究会開催

コンベンション参加者向けに仙台ならではのおもてなしを考える研究会を開催した。

	開催日	参加者数	テーマ
第1回	平成30年6月21日(木)	33名	食
第2回	平成30年7月25日(水)	25名	食
第3回	平成30年9月27日(木)	19名	お土産
第4回	平成30年11月28日(水)	14名	お土産

意見を反映させた主催者向けお土産案内を作成した。

vi. コンベンション施設ガイド作成

最新の仙台及び近郊の会議開催施設の情報を掲載した「コンベンション施設ガイド」を作成した。

#### 4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人市民が、自らの個性を活かしながら、地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目指し、各種事業を実施した。また、国際交流や国際理解などに関する各種事業を実施し、活力ある地域づくりを行った。

##### (1) 外国人市民支援

###### ① 日本語学習支援事業

生活に必要な日本語の習得を目的として、市民団体や関係機関との協働により、外国人市民のための日本語講座等を開催した。また、マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

###### i. 日本語講座の開催

生活に必要な日本語の学習を支援するため、市民センターや市民団体との協働により日本語講座を開講した。

###### ア せんだい日本語講座

前期：4月～9月／後期：10月～3月開講，前期102名／後期124名受講

###### イ 日本語ティールーム（託児付き）

4月～3月開講，55名受講

###### ウ さっと日本語クラブ（小中学生対象）

5月～2月開講，29名受講

エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援

- ・外国人の子ども・サポートの会
- ・にほんごのもり
- ・泉日本語サロン
- ・茂庭台日本語サロン
- ・日本語ボランティアサークル HANDS

## ii. 日本語ボランティアの活動支援

登録した日本語ボランティアに、日本語学習を希望する外国人市民の紹介を随時行った。また、外国につながる子どもの支援をテーマにボランティア研修会を行った。

ア 日本語ボランティアの登録と学習者への紹介

登録者ボランティア数111名、学習者数40名

イ 日本語ボランティア研修会の実施

「外国につながる子どもの学習サポート」

平成31年2月22日（金）実施、32名参加

講師：井村美穂氏（NPO 法人子どもの国代表）

田所希衣子氏（外国人の子ども・サポートの会代表）

ウ 市民団体が行う研修会への協力

## ② 生活支援事業

外国人市民が、交通安全や防災、文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び、地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等を実施した。さらに、生活に必要な情報の翻訳と広報を行った。言語や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため、ガイダンスや学習教室の開催、情報提供等を行った。

### i. 生活オリエンテーションの開催

外国人市民が自国と日本のルールやマナー等の違いを知り、安心・快適に暮らせるためのオリエンテーションを日本語講座の一環として開催した他、依頼に応じて大学や日本語学校等への出前講座も実施した。

ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」

4月～2月（全4回）実施、延べ70名参加

災害、日本の医療、大切なお知らせと公共機関、救急救命について

イ 出前講座

通年18回実施、延べ1,602名参加

日本の習慣・マナー、交通安全、ゴミ分別、防災、救命救急について

### ii. 生活情報の多言語化

外国人市民の生活に必要な情報を、行政や市民団体の協力を得ながら多言語に翻訳、広報した。

ア 「水道局からのお知らせHP」翻訳（ベトナム語、ネパール語）

イ 「多言語ゴミ排出ルールビデオ」ナレーション、字幕翻訳

（中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）

ウ 「資源とゴミの分け方・出し方」翻訳チェック（ベトナム語）、追加修正（ネパール語）

エ 「外国人住民のためのマナーマニュアル」翻訳チェック（ベトナム語、ネパール語）



### iii. FMラジオ多言語放送

季節の話題や生活情報、イベント情報などをFMラジオ4局の協力を得て多言語で放送した。  
5週目がある月には日本語で協会事業の報告を行った。

- ・放送日 言語ごと月1回15分間放送
- ・内容 生活情報、イベント情報等
- ・言語 英語、中国語、韓国語、やさしい日本語
- ・協力 エフエムたいはく、fmいずみ、ラジオ3、エフエムなとり

### iv. 外国につながる子ども支援

言葉、文化、習慣等の違いにより困難を抱えている子どもを支援するために、「外国につながる子どもサポートせんだい」の運営を行い、市民団体等との協働により「進路ガイダンス」や「夏休み教室」、「小学校入学準備講座」を実施した。

#### ア 外国につながる子どもサポートせんだい

外国につながる子どもが市内の小中学校に転入学する際、通訳や情報提供、学習支援のできるコーディネーターを派遣するとともに、学習支援教材の整備・貸出を行った。

- ・相談件数 46件  
(小学校27件、中学校11件、その他9件)
- ・コーディネーター派遣数 16件  
(小学校10件、中学校3件、その他6件)
- ・公開研修会の開催(再掲)  
「外国につながる子どもの学習サポート」  
平成31年2月22日(金)実施、32名参加  
講師：井村美穂氏(NPO法人子どもの国代表)  
田所希衣子氏(外国人の子ども・サポートの会代表)
- ・教材・参考資料の整備と貸出  
学校現場等で有効な日本語学習の教材を整備し、貸出を行った。  
(21教材、小学校9校、中学校1校に貸出)

#### イ 日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2018宮城

平成30年8月4日(土)実施、子どもと親15組35名参加  
高校進学に関する説明、教員からのアドバイス、進路相談等

#### ウ 日本語を母語としない子どものための夏休み教室

平成30年7月31日(火)～8月3日(金)実施  
外国につながる子ども 延べ49名、支援協力者 延べ88名参加  
教科学習及び日本語学習

#### エ 外国人児童と家族のための小学校入学準備講座

平成31年2月25日(月)実施、外国人保護者12名、子ども3名、関係者2名参加  
小学校入学に関する説明、教員からのアドバイス、相談等

### v. 防災啓発

外国人市民の防災意識を高めるとともに、災害時の外国人市民支援を円滑に行うため、多言語による防災情報の発信を行った。また、防災・災害時支援における関係者との連携を強化した。

- ア 消防隊員、救急隊員対象外国人対応訓練  
平成30年8月28日(火)、29日(水)実施  
仙台市宮城消防署配属 消防隊員・救急隊員57名参加
- イ 外国人市民のための防災教室  
平成30年6月2日(土)実施  
東北大学、東北福祉大学の学生等、約120名(日本人学生含む)
- ウ 町内会等と連携した防災講座、防災訓練
  - ・片平地区総合防災訓練  
平成30年10月27日(土)実施、外国人市民参加者数25名
  - ・国見地区東部ブロック6町内会  
平成30年10月27日(土)実施、外国人市民参加者数24名
- エ 仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練  
平成30年8月31日(金)実施  
CIRや留学生交流委員が外国人観光客役として訓練に参加
- オ 仙台防災未来フォーラム2019への参加  
平成31年3月10日(日)実施、一般来場者約3,500名
- カ 多文化防災ワークショップの提供  
他県国際化協会、市民団体、大学など15件
- キ Datefm 防災番組「Sunday Morning Wave」への協力
  - ・放送日 毎月第2日曜日
  - ・番組名 防災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」コーナー
  - ・内容 日本語によるトーク及び母語による防災ワンポイントアドバイス

#### vi. 留学生就職活動支援

留学生が仙台・宮城で就職し、地域の人材として活躍できるよう、関係機関との情報共有を図った。

#### vii. 留学生リサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を図るため、SENDAI 留学生自転車リサイクル事業推進協議会と協力して、リサイクル自転車の斡旋を行った。併せて、平成27年度作成の「多言語交通安全DVD」の視聴による交通安全教室を開催した。

- ・開催日 平成30年4月22日(日)
- ・会場 仙台国際センター
- ・販売台数 35台(購入希望者40名)

#### viii. 日本文化体験

姉妹都市等から来仙する市民団に日本文化を体験する機会を提供した。

聖ウルスラ学院英智高等学校姉妹校生徒着付け体験

- ・開催日 平成30年7月3日(水)
- ・場所 聖ウルスラ学院英智高等学校
- ・内容 着付け
- ・参加者数 19名

## (2) 災害時の外国人支援

### ① 災害多言語支援センター運営事業

大規模災害発生時、外国人市民や旅行者など、言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するために仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行うとともに、外国語での情報提供や相談対応を行った。

#### i. 多言語支援センター設置運営訓練(災害時言語ボランティア公開研修会として実施)

- ・開催日 平成31年2月23日(土)
- ・場所 仙台国際センター 研修室
- ・参加者数 50名(一般参加者、協会及び仙台市職員)
- ・内容 北海道胆振東部地震の事例、札幌市災害多言語支援センターの活動について

#### ii. 注意報・警報発令における多言語情報の発信

- ・件数 3件
- ・内容 台風(8/8, 9/4, 9/30)

#### iii. 多言語支援センター広報用リーフレット増刷

- ・印刷部数 1,000部
- ・配布 区役所、市民センター等の施設

#### iv. 仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練への参加(再掲)

- ・日時 平成30年8月31日(金)
- ・場所 JR仙台駅
- ・内容 仙台市国際交流員(CIR)や留学生交流委員が外国人観光客役として訓練に参加

#### v. 仙台防災未来フォーラム2019への参加(再掲)

- ・日時 平成31年3月10日(日)
- ・場所 仙台国際センター展示棟
- ・参加者 一般来場者約3,500名
- ・内容 (公財)宮城県国際化協会とともに、ブース出展と、地域の状況や外国人市民の震災の体験談、地域人材としての活動を紹介。

### ② 災害時言語ボランティア育成事業

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「災害時言語ボランティア」として募集し、研修を行った。

#### i. 登録

登録者数76名、対応言語19言語

#### ii. 研修会、訓練

##### ア 災害時言語ボランティア研修会

- ・開催日 平成30年7月21日(土)
- ・場所 荒浜地区(震災遺構荒浜小学校、せんだい3.11メモリアル交流館)
- ・参加者数 10名
- ・内容 荒浜地区の視察と、東日本大震災時の活動の振り返り、情報交換。

イ 災害時言語ボランティア公開研修会（再掲）

- ・開催日 平成31年2月23日（土）
- ・場所 仙台国際センター 研修室
- ・参加者数 10名
- ・内容 北海道胆振東部地震の事例，札幌市災害多言語支援センターの活動について

ウ その他の研修や訓練への参加

- ・外国人市民のための防災教室での通訳・訓練補助  
平成30年6月2日（土）実施，7名参加
- ・宮城消防署 外国人対応訓練への協力  
平成30年8月28日（火）・29日（水）実施，2名参加
- ・町内会と連携した防災訓練での通訳・訓練補助  
平成30年10月28日（土）実施，12名参加
- ・仙台市減災推進課広報番組「ウォッチン！防災部」の収録への協力  
平成31年2月7日（木）実施，1名参加
- ・生活オリエンテーションでの通訳・救急訓練への協力  
平成31年3月5日（火）実施，1名参加
- ・仙台防災未来フォーラム2019 パネリストとして協力  
平成31年3月10日（日）実施，2名参加

### （3）地域づくり支援事業

学校や市民センターなどが実施する国際理解講座に対し，外国人市民等の講師紹介や内容に関してのアドバイスをを行った。市民が自主的に行う国際交流，国際協力，多文化共生に関する活動に対して補助金の交付を行った。多文化共生社会の形成を目指して，外国人市民の状況や多文化共生について考える講座やイベントを開催した。

#### ① 地域づくり支援事業

##### Ⅰ. 国際理解推進

学校や市民センター等が実施する国際理解推進事業に対して，人材紹介や情報提供，参加型学習実施の支援を行った。

##### ア 人材の登録と派遣

- ・登録者数 71名（25の国と地域）
- ・派遣件数 50件（小学校30件，中学校5件，高校4件，児童館7件，保育所2件，図書館2件）
- ・派遣講師数 125名
- ・参加者数 3,748名

##### イ 仙台市国際交流員（CIR）による企画の実施

- ・写真展示「世界の食事」  
平成30年5月25日（金）～6月1日（金）実施  
仙台国際センター 交流コーナーギャラリー
- ・「キウイとイーグル！ニュージーランドとアメリカを比較して学ぼう～聞けばあなたもきっと行きたくなる～」

平成31年3月16日(土)実施, 33名参加  
仙台国際センター 交流コーナー研修室

## ii. 市民活動助成

市民の自主的な国際交流活動の促進を図るため, 事業経費の一部を補助した。

- ・補助金交付 10件 777,000円

## iii. 国際フェスティバルの開催

市民による実行委員会を組織して国際交流, 国際協力, 多文化共生等の活動を行う市民団体等が参加するイベント(せんだい地球フェスタ)を開催した。

- ・テーマ 「文化を超えて 国境を超えて 私たちはひとつ  
Across Cultures. Beyond Borders. We are still one!」
- ・開催日 平成30年9月17日(月・祝)
- ・場所 仙台国際センター展示棟
- ・内容 団体活動紹介, ステージ発表, 世界の文化体験
- ・来場者数 約8,100名
- ・参加団体 57団体
- ・ボランティア 72名

## iv. 多文化共生講座の開催

### ア 外国人市民対応研修「外国人市民対応の基本」

区役所等職員を対象とした研修会を実施した。

- ・平成30年11月30日(金)(仙台市建設公社職員) 11名参加
- ・平成31年2月27日(水)(全区役所) 33名参加

### イ 救急現場・火災現場における外国人住民対応訓練

平成30年8月28日(金), 29日(仙台市宮城消防署救急隊員・消防隊員) 57名参加

### ウ 外国人住民とのコミュニケーション講座

平成30年11月13日(火)(荒町地区町内会, 交通安全隊, 交通指導隊) 14名参加

### エ その他

- ・町内会会議等における外国人住民への対応についての説明(各区連合町内会等)
- ・各区民生委員児童委員協議会での外国人住民への対応についての説明
- ・仙台市社会学級での講演「多文化防災とやさしい日本語」, 「外国につながる子どもたちとその支援について」等
- ・仙台市地域活動栄養士会研修会「ハラールフードについて」
- ・宮城野区中央市民センターが企画する地域住民と外国人住民との交流事業への助言

## v. コミュニティ通訳育成

日本語や日本の習慣に不慣れな外国人市民が, 区役所などで手続きをする際に支援するコミュニティ通訳を育成するため, 希望者を募集し, 行政サービスの専門用語や通訳スキルについて学ぶ研修を実施した。研修の実施と制度制定にあたり先進地視察と, 有識者による検討委員会を開催した。

- ア 先進地視察 平成30年6月 (公財) ちば国際コンベンションビューロー  
(公財) 横浜市国際交流協会
- 平成30年7月 (公財) 大阪府国際交流財団  
(公財) 京都市国際交流協会

#### イ 検討委員会の開催

平成30年6月18日(月), 8月10日(金), 平成31年1月28日(月)

#### ウ 講座の開催

第1回:平成30年10月17日(水)「コミュニティ通訳の基礎知識」

第2回:平成30年11月1日(木)「通訳スキル」

第3回:平成30年11月8日(木)「行政窓口での通訳」

第4回:平成30年11月16日(金)「保育施設等, 母子保健, 教育機関での通訳の留意事項」

第5回:平成30年12月6日(木)「ロールプレイ実践」

会場: 仙台国際センター研修室

受講者数: 23名 内訳(言語の重複あり) 中国語8名, タガログ語5名, 韓国語2名, ベトナム語2名, ネパール語2名, 英語7名, ロシア語1名, スペイン語2名, ヒンディー語1名

### (4) 人材育成事業

国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生をせんだい留学生交流委員として委嘱し, 各種事業への協力を得るとともに, 地球規模の課題や地域の課題について考える機会を提供した。

#### ① 人材育成事業

##### i. せんだい留学生交流委員

仙台市在住の留学生に「せんだい留学生交流委員」を委嘱し, 地域の国際交流及び外国人市民支援の活動を行った。交流委員には月額2万円の奨励金を支給し, 活動の経済的支援とした。

・人数 前期20名, 後期18名

・活動内容 各種講座・ラジオ出演等, 協会事業への協力, 仙台市事業への協力

### (5) 国際交流事業

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団や青少年団の受入等の事業により, 市民の国際交流活動を促進した。

#### ① 派遣・受入事業

##### i. 市民団交流

ア 第28回仙台国際ハーフマラソン大会 国際姉妹都市等交流会

・開催日 平成30年5月13日(日)

・場所 江陽グランドホテル 銀河の間

・参加者数 202名(選手団含む)

イ リトル台湾 in 仙台2018への協力

・開催日 平成30年9月29日(土)~9月30日(日)

・場所 勾当台公園市民広場

・内容 広報協力, 台南市PRブースの運営等

ウ ホストファミリーボランティア

- ・登録者数 59家庭
- ・内 容 ダラス青少年受入を行った他、他団体が主催するホームステイ登録説明会の情報提供を行った。

ii. 青少年交流

アメリカ合衆国ダラス市より高校生6名を受け入れ、学校訪問やホームステイ等を通して市民交流を行った。TOMODACHIイニシアチブ助成事業。

- ・受入期間 平成30年7月3日(火)～7月10日(水)
- ・受入人数 7名(高校生6名, 同行者1名)
- ・実施内容 市役所表敬, 高校訪問, 特別養護老人ホーム訪問, 荒浜地区視察, 東北大学川内キャンパス訪問, ホームステイ体験など

5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

仙台の観光及びコンベンション並びに多文化共生に関する調査・研究広報・情報発信を行うことにより、各事業推進に役立てるとともに、地域における各活動に寄与することで、活力ある都市づくりに資することを目的に記載する事業を行った。

(1) 調査・研究・広報事業

① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

コンベンション開催団体へのアンケート調査を実施し、その内容について分析・集約した情報を行政及び仙台市内の関連団体で共有し、コンベンション等受入のための意識向上を図った。また各種大会のデータを集約、分析し、コンベンション誘致活動に活かした。

i. コンベンション施設関係者との情報交換会の開催

会議施設やホテル等のコンベンション施設関係者及びコンベンション開催業務サポーターとコンベンション受入環境等に関する意見交換を行った。

ア コンベンション施設関係者会議

第1回

- ・開催日 平成30年6月5日(火)
- ・参加者数 9施設16名

第2回

- ・開催日 平成30年12月10日(月)
- ・参加者数 7施設13名

イ コンベンション開催業務サポーター情報交換会開催

- ・開催日 平成30年6月7日(木)
- ・参加者数 7団体12名

ii. コンベンションカレンダー作成と情報発信

仙台のコンベンション等開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。  
年2回作成・配布(9月, 3月)

### iii. JCCB・JNTOの会議・研修参加

国際会議等コンベンション情報の収集を目的とし、JCCB及びJNTO事業への参加・協力を行った。

ア JNTOへの国際会議開催情報の収集と実績情報の提供

イ JCCB事業（総会、ビューロー部会）への参加

### iv. 東北地区コンベンション推進協議会の事務局として総会・研修会を運営

東北全体でのコンベンション活性化を目的とし、東北地区コンベンション推進協議会の運営、事業に参加した。

・総会 開催日：平成30年 8月23日（木） 開催地：宮城県 仙台市

・研修会 開催日：平成30年10月25日（木） 開催地：秋田県 横手市

### v. コンベンションアンケート調査の実施

仙台の会議環境の客観的評価調査のため会議参加者へアンケートを実施した。

ア アンケート調査 実施会議数：36件（国際会議16件、国内会議20件）

イ 報告書配布 賛助会員にコンベンションカレンダーと併せて3月配布

### vi. データベースシステムによるコンベンション情報の管理

コンベンション開催状況及び営業用情報の把握のため、データシステムの運用を行った。

### vii. データ集約並びに統計の作成及び誘致戦略への反映

コンベンション開催データの調査集計、開催動向の把握を行った。

### viii. ホテルにおける会議開催情報の調査・収集

仙台市内各ホテルより会議開催情報の収集を行った。

### ix. 観光コンベンションセミナー開催事業

第1部にて基調講演を開催すると共に、第2部にてゲストスピーカーを迎えトークセッションを開催し、116名の参加があった。

・開催日 平成31年2月19日（火）

・場所 TKP ガーデンシティ仙台駅北

・第1部 基調講演

「なぜ？どのように？誰が？どこで？いつ？国際会議を開催するか」

講師：東北大学理学研究科化学専攻教授 山下正廣氏

・第2部 トークセッション

「スポーツ国際大会に学ぶ「仙台」に必要なおもてなし」

ゲストスピーカー：佐藤あり紗氏（リガーレ仙台）

武田均氏（仙台市スポーツ振興事業団常務理事）

ファシリテーター：大坂ともお氏（一般社団法人 SC. FIELD 代表理事）



## ② 多文化共生等に関する調査研究広報事業

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究を行った。また、市民の理解促進を図るための広報事業を行った。

### i. 多文化共生等に関する調査研究

多文化共生等にかかる現状や課題について情報収集するとともに、各種協議会や研修会への参加を通して関係機関とのネットワーク構築を図った。

- ・地域国際化協会連絡協議会総会（東京）
- ・東北・北海道国際化協会連絡協議会、研修会（秋田）
- ・日本語教育学会（東京）
- ・多文化共生マネージャー養成コース（滋賀）

### ii. 多文化共生等に関する広報

広報紙、メールマガジン、ホームページ運営等を通して協会事業や市民団体の活動紹介を行う他、防災や多文化共生事業について外部からの依頼により職員を講師として派遣した。

#### ア 「交流コーナーだより」の発行

2,500部/月6回発行（日本語）

#### イ 「外国人市民向け情報誌 Sendai Lifestyle」の発行

2,500部/年4回発行（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）

#### ウ 「国際化事業部ホームページ」の運営

ブログ、facebook、twitter（日本語、英語、中国語、韓国語）

#### エ 「メールマガジン SenTIA メール」の配信

月5回程度発行（日本語、英語、中国語、韓国語）

1,906名登録（日本語1,051名、英語695名、中国語103名、韓国語57名）

#### オ 事業広報等のための講師派遣

派遣回数：12回

内容：防災・多文化共生について

#### カ 国際化事業部事業案内の作成

日本語版 3,000部

多言語版 3,000部（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）

### iii. 日本語学習支援に関する調査

外国人の日本語学習支援に関する環境整備のため、先進地視察やニーズ調査を行った。

#### ア ヒアリング調査

- ・調査項目 学習動機、日常生活における日本語の必要性、日本語能力が生活や仕事にどう結び付くか
- ・調査方法 外国人市民及び関係機関等へのヒアリング調査
- ・調査件数 学習支援者・団体25件、外国人住民34件

#### イ 先進地視察

平成31年3月（一財）つくば市国際交流協会「外国人のための日本語講座」

NPO 法人青少年自立援助センター「YSC グローバル・スクール」

### ③ 専門委員会調査研究事業

各事業の推進及び活性化を目的に、各専門員会を設置し、外部有識者等からの意見・提言をいただいた。

- i. 観光専門委員会 平成30年7月17日(火)実施, 8名参加
  - 同 宿泊部会 第1回:平成30年 7月18日(水)実施, 6名参加
  - 第2回:平成30年12月 5日(水)実施, 5名参加
  - 第3回:平成31年 3月 6日(水)実施, 4名参加
  
- ii. コンベンション推進専門委員会 第1回:平成30年7月26日(木)実施, 10名参加
  - 第2回:平成31年3月15日(金)実施, 11名参加
  
- iii. 物産専門委員会 平成30年8月28日(火)実施, 10名参加
  - 同 工芸部会 平成30年9月18日(火)実施, 5名参加
  
- iv. 国際化専門委員会 第1回:平成30年6月27日(水)実施, 7名参加
  - 第2回:平成31年3月22日(金)実施, 8名参加

### (2) 情報発信事業

国内外からの旅行者を誘致するために、仙台の最新の観光情報やイベント情報等を広く国内外に向けて情報発信した。また、多文化共生社会の形成を目的として、外国人市民の声や地域の現状等を各種媒体にて広く発信した。その他、当協会の機関紙を定期的に発行することで、当協会の事業活動内容を広く周知した。

#### ① 情報発信事業

##### i. 観光宣伝パンフレット作成

- ・ 仙台観光マップの作成配布
  - 配布数 343,262部(前年比90.2%)
- ・ 仙台シティマップの作成配布
  - 配布数 26,515部(前年比69.5%)

##### ii. 多言語版観光宣伝パンフレット増刷

- ・ 増刷部数:英語版 50,000部
- 簡体字版 20,000部
- 繁体字版 20,000部
- 韓国語版 10,000部

##### iii. 仙台シティマップ増刷

- ・ 増刷部数:英語版 10,000部
- 簡体字版 10,000部
- 繁体字版 10,000部
- 韓国語版 5,000部

##### iv. 仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」の活用による観光情報の発信

仙台市の観光、イベント情報、関連する役立ち情報等を紹介するWebサイトの運営、管理を行った。

- ・総アクセス件数 年間2,101,608件
- ・総ページビュー数 年間2,719,493ページビュー数

#### v. 機関紙発行

協会の概要や、各部の主な事業を紹介するため機関紙を発行すると共に、当協会の事業案内を作成した。インタビュー記事を多用するなど、機関紙の内容の見直しを実施した。

- ・協会機関紙の発行  
第12号 3,000部
- ・賛助会員名簿の発行
- ・協会事業案内の発行

#### vi. 留学生等との協働による情報発信事業

Facebook やブログなどのソーシャルメディアを活用し、留学生などの外国人市民から見た仙台の魅力や復興の様子を世界に発信した。

##### ア FMラジオ3「留学生トーク」への協力

- ・年間24回

##### イ 情報発信

- ・国際化事業部の事業紹介と事業報告 年間120回程度
- ・西部地区の観光地、ホテルの魅力を発信 年間12回程度

##### ウ 仙台サポーターの委嘱

- ・新規委嘱 11名(延べ人数134名)

#### vii. 首都圏案内所等での情報発信事業

仙台のパンレットやプロモーションDVD等を東京駅に隣接する観光案内所「TIC TOKYO」にて配布、放映し、PRを行った。

#### viii. 観光PR用素材収集事業

WEB等の媒体に掲載可能な画像素材を、1年間かけて新たに収集した。

## 6. 情報提供・交流促進に関する事業

地域の観光の発展と国際交流活動の促進を図り、もって地域社会の健全な発展を実現するための事業を行った。

### (1) 観光情報施設の運営

#### ① 仙台市観光情報センター運営事業

仙台・宮城はもとより東北に訪される観光客等を対象に、JR仙台駅において市内観光情報や東北広域情報の提供および相談案内を実施した。

##### ・利用実績

	年間利用実績(4月～3月)
日本人	164,386名(前年度比111.3%)
外国人	16,689名(前年度比110.8%)
計	181,075名(前年度比111.3%)

## ② 仙台市作並・定義地区観光案内所運営事業

仙台市作並・定義地区の観光地や物産及び宿泊施設等を紹介することを目的に、当該地区を訪れる観光客を対象に、仙台市作並・定義地区観光案内所運営を実施した。

・利用実績（窓口案内・電話問合せ含む）

年間利用実績（4月～3月）
19,520件（前年度比99.1%）

## (2) 国際交流拠点施設の運営

仙台国際センター内の「交流コーナー」を運営し、国際交流や多文化共生の地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供するとともに、幅広い交流の機会やにぎわいの場を創出した。また、生活及び地域の観光に関する情報を収集し、外国人市民、旅行者、国際センター来場者等へ多言語での情報提供を行った。さらに、関係機関や市民ボランティア等と連携して多言語による各種相談を行った。

### ① 国際センター交流コーナー運営

- ア 開館日数 343日
- イ 入場者数 25,098人（日本人17,847人、外国人7,251人）  
1日平均73.2人（前年度比99.3%）
- ウ 相談受付数 4,639件（日本人2,545件、外国人2,094件）  
1日平均13.5件
- エ 図書貸出数 1,723冊（和書960冊、洋書763冊）1日平均5.02冊

#### i. 外国人市民への情報提供・相談対応

- ・相談受付数 外国人2,094件（再掲）

#### ii. 行政窓口等におけるコミュニケーション支援（通訳サポート電話）

- ・517件（英語318件、日本語92件、中国語85件、ベトナム語17件、ネパール語2件、韓国語1件、タガログ語1件、フランス語1件）

#### iii. 国際活動・多文化共生に関わる団体の支援

国際交流・協力、多文化共生推進のための活動など国際活動を行う市民団体に対して、情報提供や活動スペースの提供を通じ、活動を支援した。

- ・国際活動団体登録数：148団体
- ・交流コーナー内「研修室」及び「ワークショップ」の利用登録団体：70団体

#### iv. 外国人観光案内所としての情報提供

- ・452件（日本人276件、外国人128件、外国人対応者48件）

#### v. 『生活便利帳（多言語版）』（仙台市発行）の編集

- ・仙台生活便利帳改訂版（多言語合冊版） 3,000部

#### vi. 広報誌「交流コーナーだより」の発行

- ・「交流コーナーだより」（日本語英語併記／一部外国語併記）2,500部／回（年4回発行）（再掲）

## [収益事業]

### 1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便を図るため、仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営を行った。

#### (1) 観光駐車場等管理運営事業

##### ① 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

・利用実績

	平成30年4月1日～平成31年3月31日
利用台数	34,591台 (前年度比100.6%)
利用金額	18,835,500円 (前年度比100.4%)

### 2. 物産・銘産品等販売事業

#### (1) 物産・銘産品等販売事業

##### ① 仙台市作並・定義地区観光案内所における物品販売

仙台市作並・定義地区観光案内所におけるサービスの充実を図ることを目的に、観光客を対象に観光客が必要とする土産品等の販売を行った。

・JR作並駅売店における土産品、JR乗車券販売

年間販売実績	1,906,718円 (前年度比93.4%)
--------	------------------------

##### ② 物産品販売事業

仙台で開催されるコンベンションや県内外で開催される催事等において、仙台の物産振興と販路拡張を目的に、仙台の物産・銘産品の販売を実施した。

##### i. 「るーぶる仙台チョコQ販売」及び「名刺台紙の販売」

・販売実績

品名	平成30年4月1日～平成31年3月31日
るーぶる仙台チョコQ	4,137,016円 (前年度比92.3%)
名刺台紙	77,520円 (前年度比117.7%)

##### ii. 仙台・青葉まつりと連携した仙台駅銘品・工芸品フェア

仙台・青葉まつりの開催日と合わせた期間設定を行い、JR仙台駅で銘品・工芸品の販売を行うとともに、仙台・青葉まつり機運の醸成と集客を図り物産・観光振興に繋げた。

・出店者数：20社

・総売上：8,374千円 (前年度比76.3%)

##### iii. コンベンション会場における物産販売

・実施件数：4件

・総売上：2,764千円

## Ⅱ. 平成30年度財務諸表

### 貸借対照表

平成31年3月31日現在

単位:円

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	127,079,997	133,128,097	△ 6,048,100
未収金	11,676,809	4,280,142	7,396,667
仮払金	20,000	20,000	0
立替金	7,939	11,231	△ 3,292
貯蔵品	5,133,337	7,897,529	△ 2,764,192
繰延税金資産	0	42,804	△ 42,804
流動資産合計	143,918,082	145,379,803	△ 1,461,721
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	327,867,713	327,845,039	22,674
基本財産預金	1,132,287	1,154,961	△ 22,674
基本財産合計	329,000,000	329,000,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	22,982,663	21,449,248	1,533,415
退職給付引当資産	108,204,563	107,443,098	761,465
物産会館引当資産	11,603,735	11,603,735	0
賞与引当資産	0	0	0
特定資産合計	142,790,961	140,496,081	2,294,880
(3) その他固定資産			
建物付属設備	4,961,284	0	4,961,284
車輛運搬具	2	2	0
構築物	1,646,839	1,837,864	△ 191,025
什器備品	18,733,893	20,076,283	△ 1,342,390
電話加入権	613,688	613,688	0
リサイクル預託金	11,090	11,090	0
貸付金	0	2,800,000	△ 2,800,000
敷金	400,000	400,000	0
繰延税金資産	398,667	374,870	23,797
その他固定資産合計	26,765,463	26,113,797	651,666
固定資産合計	498,556,424	495,609,878	2,946,546
資産合計	642,474,506	640,989,681	1,484,825

単位:円

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	103,368,155	100,828,592	2,539,563
賞与引当金	15,023,056	13,342,453	1,680,603
前受金	0	27,000	△ 27,000
預り金	5,531,528	5,642,416	△ 110,888
未払法人税等	240,500	1,296,900	△ 1,056,400
流動負債合計	124,163,239	121,137,361	3,025,878
2. 固定負債			
長期借入金	12,000,000	12,000,000	0
物産会館積立金	11,603,735	11,603,735	0
退職給付引当金	108,204,563	98,394,466	9,810,097
固定負債合計	131,808,298	121,998,201	9,810,097
負債合計	255,971,537	243,135,562	12,835,975
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	190,000,000	190,000,000	0
民間補助金	137,000,000	137,000,000	0
指定正味財産合計	327,000,000	327,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 327,000,000 )	( 327,000,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	59,502,969	70,854,119	△ 11,351,150
(うち特定資産への充当額)	( 2,000,000 )	( 2,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 22,982,663 )	( 21,449,248 )	( 1,533,415 )
正味財産合計	386,502,969	397,854,119	△ 11,351,150
負債及び正味財産合計	642,474,506	640,989,681	1,484,825

## 貸借対照表内訳表

平成31年3月31日現在

単位:円

科 目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	69,004,438	50,831,999	7,243,560	0	127,079,997
未収金	8,590,960	229,338	13,203,642	△ 10,347,131	11,676,809
仮払金	0	20,000	0	0	20,000
立替金	7,939	0	0	0	7,939
貸付金	0	0	0	0	0
貯蔵品	0	5,133,337	0	0	5,133,337
繰延税金資産	0	0	0	0	0
流動資産合計	77,603,337	56,214,674	20,447,202	△ 10,347,131	143,918,082
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	308,572,713	0	19,295,000	0	327,867,713
基本財産預金	1,132,287	0	0	0	1,132,287
基本財産合計	309,705,000	0	19,295,000	0	329,000,000
(2) 特定資産					
減価償却引当資産	22,982,663	0	0	0	22,982,663
退職給付引当資産	95,544,629	324,614	12,335,320	0	108,204,563
物産会館引当資産	11,603,735	0	0	0	11,603,735
賞与引当資産	0	0	0	0	0
特定資産合計	130,131,027	324,614	12,335,320	0	142,790,961
(3) その他固定資産					
車輛運搬具	2	0	0	0	2
構築物	1,646,839	0	0	0	1,646,839
什器備品	18,733,893	0	0	0	18,733,893
建物付属設備	4,961,284	0	0	0	4,961,284
電話加入権	613,688	0	0	0	613,688
リサイクル預託金	11,090	0	0	0	11,090
貸付金	0	0	0	0	0
敷金	400,000	0	0	0	400,000
繰延税金資産	0	398,667	0	0	398,667
その他固定資産合計	26,366,796	398,667	0	0	26,765,463
固定資産合計	466,202,823	723,281	31,630,320	0	498,556,424
資産合計	543,806,160	56,937,955	52,077,522	△ 10,347,131	642,474,506



単位:円

科 目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	97,530,946	6,133,184	10,051,156	△ 10,347,131	103,368,155
賞与引当金	13,265,359	45,069	1,712,628	0	15,023,056
前受金	0	0	0	0	0
預り金	0	0	5,531,528	0	5,531,528
未払法人税等	0	240,500	0	0	240,500
流動負債合計	110,796,305	6,418,753	17,295,312	△ 10,347,131	124,163,239
2. 固定負債					
長期借入金	12,000,000	0	0	0	12,000,000
物産会館積立金	11,603,735	0	0	0	11,603,735
退職給付引当金	95,544,629	324,614	12,335,320	0	108,204,563
固定負債合計	119,148,364	324,614	12,335,320	0	131,808,298
負債合計	229,944,669	6,743,367	29,630,632	△ 10,347,131	255,971,537
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	182,350,000	0	7,650,000	0	190,000,000
民間補助金	125,355,000	0	11,645,000	0	137,000,000
指定正味財産合計	307,705,000	0	19,295,000	0	327,000,000
(うち基本財産への充当額)	( 307,705,000 )	( 0 )	( 19,295,000 )	( 0 )	( 327,000,000 )
2. 一般正味財産	6,156,491	50,194,588	3,151,890	0	59,502,969
(うち基本財産への充当額)	( 2,000,000 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 2,000,000 )
(うち特定資産への充当額)	( 22,982,663 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 22,982,663 )
正味財産合計	313,861,491	50,194,588	22,446,890	0	386,502,969
負債及び正味財産合計	543,806,160	56,937,955	52,077,522	△ 10,347,131	642,474,506

## 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,504,774	3,504,780	△ 6
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	42,657	42,837	△ 180
③ 受取会費			
受取会費	17,755,716	18,071,500	△ 315,784
④ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	470,157,651	448,604,600	21,553,051
受取民間補助金	3,000,000	3,000,000	0
受取その他補助金	0	0	0
受取受託料	28,750,377	15,950,015	12,800,362
受取補助金計	501,908,028	467,554,615	34,353,413
⑤ 受取負担金			
受取負担金	12,276,361	12,147,121	129,240
⑥ 事業収益			
販売事業等収益	23,738,462	24,478,847	△ 740,385
作並・定義地区事業収益	1,906,718	2,041,939	△ 135,221
受託事業収益	967,211	1,311,980	△ 344,769
事業収益計	26,612,391	27,832,766	△ 1,220,375
⑦ 受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
⑧ 雑収益			
受取利息	1,155	2,054	△ 899
雑収益	37,690	31,138	6,552
雑収益計	38,845	33,192	5,653
経常収益計	562,138,772	529,186,811	32,951,961

單位:円

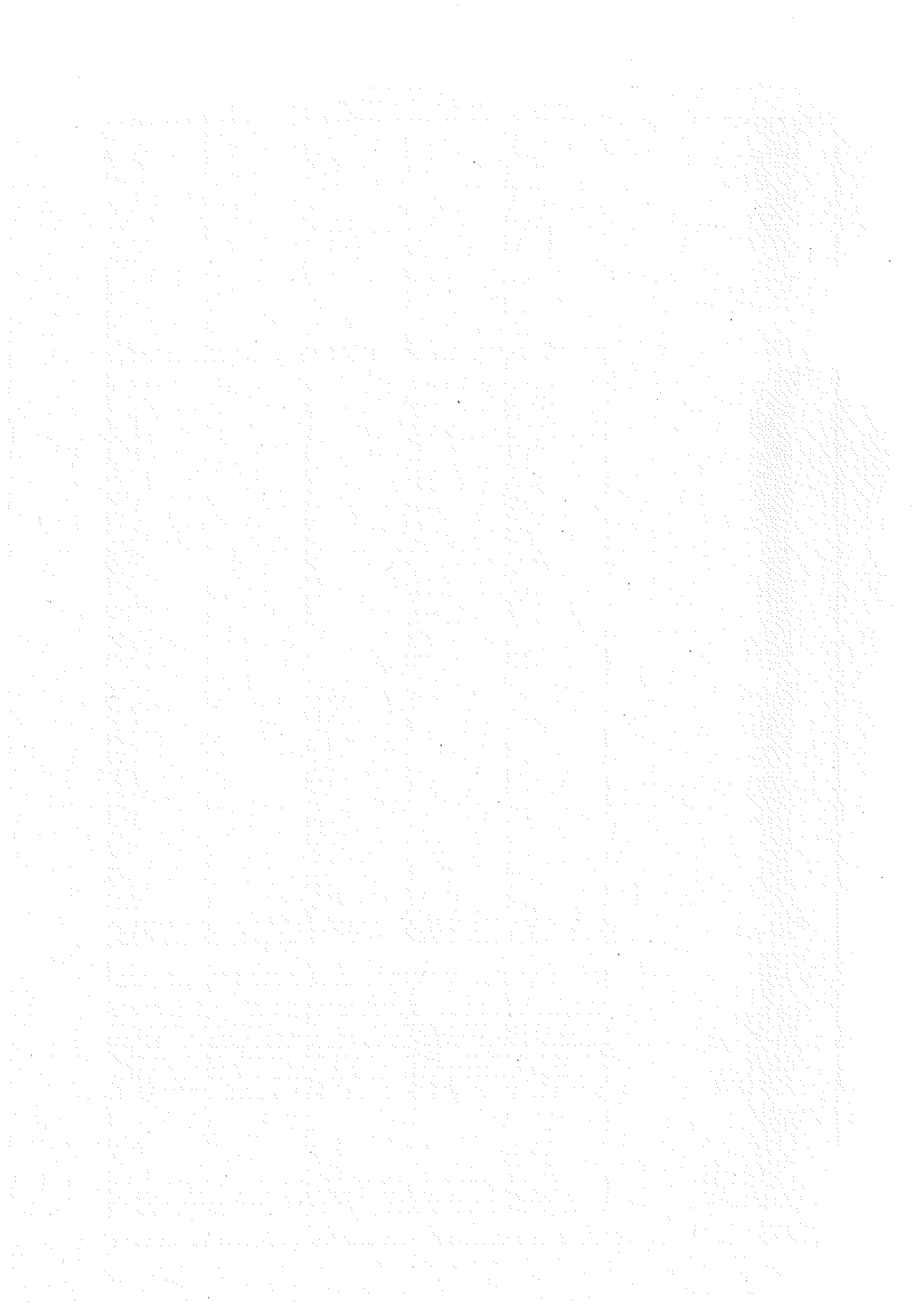
科 目	当年度	前年度	増減
(2) 經常費用			
① 事業費			
役員報酬	6,651,726	6,587,839	63,887
給料手当	203,642,490	190,942,638	12,699,852
臨時雇賃金	7,085,601	13,307,652	△ 6,222,051
退職給付費用	8,691,746	9,892,408	△ 1,200,662
福利厚生費	41,364,424	40,123,038	1,241,386
会議費	1,208,154	1,164,480	43,674
旅費交通費	6,532,958	5,371,361	1,161,597
燃料費	250,397	211,727	38,670
通信運搬費	5,046,576	5,014,003	32,573
光熱水費	4,023,382	3,811,733	211,649
減価償却費	2,911,060	1,955,191	955,869
消耗品費	5,338,038	3,999,163	1,338,875
図書購入費	768,050	963,859	△ 195,809
広告宣伝費	0	0	0
印刷製本費	22,022,599	21,347,782	674,817
賃借料	39,387,576	38,568,329	819,247
諸謝金	8,409,881	6,825,557	1,584,324
報償費	473,037	249,711	223,326
負担金	18,151,298	18,314,755	△ 163,457
寄附金	71,846	0	71,846
修繕費	805,023	3,884,806	△ 3,079,783
助成金	46,276,000	43,206,000	3,070,000
委託費	76,764,636	59,992,525	16,772,111
保険料	468,653	445,186	23,467
租税公課	2,158,241	2,188,252	△ 30,011
仕入費	1,184,470	1,288,849	△ 104,379
賞与引当金繰入額	13,310,428	11,821,413	1,489,015
手数料	2,309,230	646,115	1,663,115
雑費	95,045	157,681	△ 62,636
② 管理費			
役員報酬	8,465,833	8,384,523	81,310
給料手当	24,656,266	24,568,240	88,026
臨時雇賃金	326,916	1,197,351	△ 870,435
退職給付費用	1,118,351	118,532	999,819
福利厚生費	5,322,285	5,162,558	159,727
会議費	9,111	7,220	1,891
旅費交通費	11,359	23,262	△ 11,903
燃料費	32,219	27,243	4,976
通信運搬費	225,889	198,712	27,177
光熱水費	140,075	100,521	39,554
図書購入費	5,523	5,209	314
消耗品費	221,315	153,619	67,696
印刷製本費	59,824	74,009	△ 14,185
賃借料	3,136,503	2,886,189	250,314
諸謝金	0	0	0
負担金	64,983	71,061	△ 6,078
修繕費	17,703	38,318	△ 20,615
委託費	2,018,657	354,542	1,664,115
保険料	32,410	29,267	3,143
租税公課	9,359	15,138	△ 5,779
賞与引当金繰入額	1,712,628	1,521,040	191,588
手数料	231,041	36,087	194,954
雑費	9,600	17,016	△ 7,416
經常費用計	573,230,415	537,271,710	35,958,705
当期經常増減額	△ 11,091,643	△ 8,084,899	△ 3,006,744

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度修正益	0	9,856,791	△ 9,856,791
退職給付引当金戻入	0	8,971,190	△ 8,971,190
経常外収益計	0	18,827,981	△ 18,827,981
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	18,827,981	△ 18,827,981
税引前当期一般正味財産増減額	△ 11,091,643	10,743,082	△ 21,834,725
法人税、住民税及び事業税	240,500	1,296,900	△ 1,056,400
法人税等調整額	19,007	△ 31,571	50,578
当期一般正味財産増減額	△ 11,351,150	9,477,753	△ 20,828,903
一般正味財産期首残高	70,854,119	61,376,366	9,477,753
一般正味財産期末残高	59,502,969	70,854,119	△ 11,351,150
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,504,774	3,504,780	△ 6
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,504,774	△ 3,504,780	6
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	327,000,000	327,000,000	0
指定正味財産期末残高	327,000,000	327,000,000	0
III 正味財産期末残高	386,502,969	397,854,119	△ 11,351,150

正味財産増減計算書内訳表  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	3,297,993	0	206,781	0	3,504,774
基本財産受取利息	3,297,993	0	206,781	0	3,504,774
特定資産運用益	42,657	0	0	0	42,657
特定資産受取利息	42,657	0	0	0	42,657
受取会費	17,755,716	0	0	0	17,755,716
受取会費	17,755,716	0	0	0	17,755,716
受取補助金等	454,286,989	0	47,621,069	0	501,908,028
受取地方公共団体補助金	422,536,582	0	47,621,069	0	470,157,651
受取民間補助金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
受取受託料	28,750,377	0	0	0	28,750,377
受取負担金	12,276,361	0	0	0	12,276,361
受取負担金	12,276,361	0	0	0	12,276,361
事業収益	967,211	25,645,180	0	0	26,612,391
販売事業等収益	0	23,738,462	0	0	23,738,462
作並・定義地区事業収益	0	1,906,718	0	0	1,906,718
国際化事業収益	967,211	0	0	0	967,211
雑収益	38,696	149	0	0	38,845
受取利息	1,196	49	0	0	1,245
雑収益	37,500	100	0	0	37,600
経常収益計	488,665,593	25,645,329	47,827,850	0	562,138,772
(2) 経常費用					
事業費	505,704,314	19,698,251	0	0	525,402,565
常勤役員報酬	6,651,726	0	0	0	6,651,726
給料手当	202,957,594	684,896	0	0	203,642,490
臨時雇賃金	6,154,176	931,425	0	0	7,085,601
退職給付費用	8,662,316	29,430	0	0	8,691,746
福利厚生費	41,224,364	140,060	0	0	41,364,424
会議費	1,207,914	240	0	0	1,208,154
旅費交通費	6,532,659	299	0	0	6,532,958
燃料費	249,549	848	0	0	250,397
通信運搬費	5,014,436	32,140	0	0	5,046,576
光熱水費	3,932,385	90,997	0	0	4,023,382
減価償却費	2,911,060	0	0	0	2,911,060
消耗品費	5,061,948	276,090	0	0	5,338,038
図書購入費	767,905	145	0	0	768,050
印刷製本費	21,632,076	390,523	0	0	22,022,599
賃借料	38,968,921	418,655	0	0	39,387,576
諸謝金	8,409,881	0	0	0	8,409,881
報償費	473,037	0	0	0	473,037
負担金	18,149,588	1,710	0	0	18,151,298
寄附金	0	71,846	0	0	71,846
修繕費	804,557	466	0	0	805,023
助成金	46,276,000	0	0	0	46,276,000
委託費	63,408,195	13,356,441	0	0	76,764,636
保険料	460,900	7,753	0	0	468,653
租税公課	146,568	2,011,673	0	0	2,158,241
仕入費	0	1,184,470	0	0	1,184,470
賞与引当金	13,265,359	45,069	0	0	13,310,428
手数料	2,286,840	22,390	0	0	2,309,230
雑費	94,360	685	0	0	95,045
管理費	0	0	47,827,850	0	47,827,850
常勤役員報酬	0	0	8,465,833	0	8,465,833
給料手当	0	0	24,656,266	0	24,656,266
臨時雇賃金	0	0	326,916	0	326,916
退職給付費用	0	0	1,118,351	0	1,118,351
福利厚生費	0	0	5,322,285	0	5,322,285
会議費	0	0	9,111	0	9,111
旅費交通費	0	0	11,359	0	11,359
燃料費	0	0	32,219	0	32,219
通信運搬具	0	0	225,889	0	225,889
光熱水費	0	0	140,075	0	140,075
図書購入費	0	0	5,523	0	5,523
消耗品費	0	0	221,315	0	221,315
印刷製本費	0	0	59,824	0	59,824
賃借料	0	0	3,136,503	0	3,136,503
負担金	0	0	64,983	0	64,983
修繕費	0	0	17,703	0	17,703
委託費	0	0	2,018,657	0	2,018,657
保険料	0	0	32,410	0	32,410
租税公課	0	0	9,359	0	9,359
賞与引当金	0	0	1,712,628	0	1,712,628
手数料	0	0	231,041	0	231,041
雑費	0	0	9,600	0	9,600
経常費用計	505,704,314	19,698,251	47,827,850	0	573,230,415
当期経常増減額	-17,038,721	5,947,078	0	0	-11,091,643
<b>2. 経常外増減の部</b>					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,561,526	-3,561,526	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-13,477,195	2,385,552	0	0	-11,091,643
法人税、住民税及び事業税		240,500			240,500
法人税等調整額		19,007			19,007
一般正味財産増減額	-13,477,195	2,126,045	0	0	-11,351,150
一般正味財産期首残高	19,633,486	48,068,743	3,151,890	0	70,854,119
一般正味財産期末残高	6,156,291	50,194,788	3,151,890	0	59,502,969
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取補助金	0	0	0	0	0
受取補助金	0	0	0	0	0
基本財産運用益	3,297,993	0	206,781	0	3,504,774
基本財産受取利息	3,297,993	0	206,781	0	3,504,774
一般正味財産への振替額	-3,297,993	0	-206,781	0	-3,504,774
一般正味財産への振替額	-3,297,993	0	-206,781	0	-3,504,774
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	307,705,000	0	19,295,000	0	327,000,000
指定正味財産期末残高	307,705,000	0	19,295,000	0	327,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>					
正味財産期末残高	313,861,291	50,194,788	22,446,890	0	386,502,969



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券 …………… 償却原価法によっている(定額法)。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品 …………… 最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産 …………… 定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金 …………… 賞与引当金は従業員の賞与の支給に備えるため支給額のうち当事業年度の負担額を計上している。  
退職給付引当金 …………… 期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 税効果会計の適用について  
税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用している。
- (6) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (7) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
利付国債等	327,845,039	22,674		327,867,713
基本財産預金	1,154,961		22,674	1,132,287
基本財産預金	0			0
小 計	329,000,000	22,674	22,674	329,000,000
特定資産				
減価償却引当資産	21,449,248	1,944,895	411,480	22,982,663
退職給付引当資産	107,443,098	9,958,638	9,197,173	108,204,563
物産会館引当資産	11,603,735	0	0	11,603,735
賞与引当資産	0	0	0	0
小 計	140,496,081	11,903,533	9,608,653	142,790,961
合 計	469,496,081	11,926,207	9,631,327	471,790,961

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
利付国債等	327,867,713	(325,867,713)	(2,000,000)	—
基本財産預金	1,132,287	(1,132,287)	—	—
小 計	329,000,000	(327,000,000)	(2,000,000)	—
特定資産				
減価償却引当資産	22,982,663	( 0 )	(22,982,663)	—
退職給付引当資産	108,204,563	—	( 0 )	(108,204,563)
物産会館積立資産	11,603,735	—	( 0 )	(11,603,735)
小 計	142,790,961	( 0 )	(22,982,663)	(119,808,298)
合 計	471,790,961	(327,000,000)	(24,982,663)	(119,808,298)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	5,927,449	966,165	4,961,284
構築物	7,863,948	6,217,109	1,646,839
車輛運搬具	2,956,105	2,956,103	2
什器備品	54,876,070	36,142,177	18,733,893
合 計	71,623,572	46,281,554	25,342,018

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第305回 利付国債	118,998,460	121,296,000	2,297,540
第60回 利付国債	19,944,252	21,202,000	1,257,748
第61回 利付国債	39,930,952	41,924,000	1,993,048
第62回 利付国債	29,931,975	31,272,000	1,340,025
第315回 利付国債	39,059,374	41,240,000	2,180,626
第317回 利付国債	10,008,700	10,320,000	311,300
宮城県債30	19,994,000	20,534,000	540,000
仙台市債26	20,000,000	20,016,000	16,000
愛知県債22/7	30,000,000	30,459,000	459,000
合 計	327,867,713	338,263,000	10,395,287

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期		当期末残高	貸借対照表上の記載区分
			増加額	減少額		
補助金						
地方公共団体補助金	仙台市	180,000,000	0	0	180,000,000	指定正味財産
	宮城県	10,000,000	0	0	10,000,000	同 上
民間補助金	仙台商工会議所	10,000,000	0	0	10,000,000	同 上
	他65団体	127,000,000	0	0	127,000,000	同 上
その他寄附金		0	0	0	0	同 上
合 計		327,000,000	0	0	327,000,000	



7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	3,504,774
合 計	3,504,774

8. 税効果会計関係

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

賞与引当金損金算入限度超過額	11,976
未払事業税	4,000
退職給付引当金損金算入限度超過額	382,691
繰延税金資産合計	398,667

(2) 法人税法上の非収益事業と収益事業の区分

項 目	非収益事業	収益事業	合 計
税引前当期一般正味財産増減額(A)	0	2,385,552	2,385,552
寄附金損金算入限度額(B)	0	0	0
小 計 (C)=(A)+(B)	0	2,385,552	2,385,552
法人税、住民税及び事業税(D)	-	240,500	240,500
法人税等調整額(E)	-	19,007	19,007
当期一般正味財産増減額(A)-(D)-(E)	0	2,126,045	2,126,045

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

### 2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	98,394,466	9,810,097			108,204,563
賞与引当金	13,342,453	15,023,056	13,342,453	0	15,023,056

# 財産目録

平成 31年 3月 31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	本部	小払用	93,772	
	預金	作並・定義地区観光案内所	釣り銭ほか	191,416	
		普通預金			
		七十七銀行 本店	運転資金として	61,236,537	
		七十七銀行 本店	運転資金として	8,719,747	
		七十七銀行 本店	運転資金として	3,080,830	
		七十七銀行 本店	運転資金として	2,212,994	
		七十七銀行 本店	運転資金として	5,822,556	
		仙台銀行 本店	運転資金として	7,509,978	
		社の都信用金庫 本店	運転資金として	1,174,908	
		ゆうちょ銀行 愛子支店	運転資金として	7,423,716	
		七十七銀行 東口支店	運転資金として	18,550,288	
		七十七銀行 定期預金	運転資金として	11,063,255	
		現預金小計		127,079,997	
		未収金	その他一般に対する未収額	8,590,960	
		その他一般に対する未収額	229,338		
		その他一般に対する未収額	2,856,511		
	未収金小計	公益目的事業未収入金として	11,676,809		
		収益事業等未収入金として			
		管理業務未収入金として			
	仮払金	仙台駅東口駐車場	20,000		
	立替金	本部	7,939		
	貯蔵品	ルーブルバスチョロQ6,303個	3,948,199		
		ロゴ入り名刺台紙 3,289組	896,186		
		売店商品	288,952		
	貯蔵品小計	観光PR物品販売事業の在庫として	5,133,337		
		観光PR物品販売事業の在庫として			
		作並・定義地区観光案内所売店事業の在庫として			
流動資産合計			143,918,082		
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	第305回 利付国債	118,998,460	
			第60回 利付国債	19,944,252	
			第61回 利付国債	39,930,952	
			第62回 利付国債	29,931,975	
			第315回 利付国債	39,059,374	
			第317回 利付国債	10,008,700	
			宮城県債30	19,994,000	
			仙台市債26	20,000,000	
			愛知県債22/7	30,000,000	
			七十七銀行 本店	1,132,287	
			基本財産小計	329,000,000	
		特定資産	減価償却引当資産	七十七銀行 本店	22,982,663
			退職給付引当資産	七十七銀行 本店	73,204,563
				仙台市債	35,000,000
			物産会館引当資産	七十七銀行 本店	11,603,735
	特定資産小計	物産会館建設時の什器備品の購入のための預金	142,790,961		

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	車輛運搬具	車輛2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業で使用している共用資産である	2
	構築物	誘導柱1号機~5号機及び照明灯	公益目的保有財産であり、施設運営・維持管理等事業で使用している	20,033
		案内所案内看板及び誘導看板	"	2
		歓迎こけし塔改修	"	1,626,804
		構築物小計		1,646,839
	什器備品	木製サイドボード	公益目的保有財産であり、公益目的事業で使用している共用資産である	1
		会議用テーブル楕円形	"	1
		とびら付耐火金庫	"	1
		応接セット一式	"	1
		中置ラック	"	8,545
		玉虫厨子	"	1,000,000
		仙台筆筒	"	2,000,000
		東芝37型テレビ及びブルー	"	1
		宮太鼓2尺及び1尺	公益目的保有財産であり、誘致・支援事業で使用している	2
政宗公山鉾 4台		"	13,015,720	
すずめ踊りお囃子山車 2台	"	2,705		
NECノートPC Mate MK33M	"			
什器備品小計		18,733,893		
建物付属設備	間仕切(4F、6F)	公益目的保有財産であり、施設運営・維持管理等事業で使用している	4,404,087	
	扉改造	"	260,315	
	受付スペース	"	296,882	
構築物小計		4,961,284		
電話加入権	8回線分	公益目的保有財産であり、公益目的事業、収益事業、管理業務で使用している共用資産である。	613,688	
リサイクル預託金	車輛に関するもの	公益目的保有財産であり、公益目的事業、収益事業、管理業務で使用している共用資産である。	11,090	
敷金	仙台市太白区秋保町内	誘導柱及び案内板の地権者に対するもの	400,000	
繰延税金資産	本部		398,667	
固定資産合計				498,557,241
資産合計				642,474,241

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	仙台市に対する未払額	平成30年度仙台市補助金返戻額	76,568,349
		仙台市に対する未払額	平成30年度仙台市受託事業返戻額	627,623
		その他一般に対する未払額	公益目的事業未払金として	13,691,318
		その他一般に対する未払額	収益事業等未払金として	2,429,709
		その他一般に対する未払額	管理業務等未払金として	10,051,156
		未払金小計		103,368,155
	賞与引当金	本部	従業員に対する夏季賞与の支払いに備えたもの	15,023,056
	前受金	本部	国際化事業部賛助会費の前受金	0
	預り金	従業員に対するもの	社会保険料預り金ほか	5,531,528
	未払法人税等	国等に対する未払額	収益事業での正味財産増加額に対する法人税	240,500
流動負債合計				124,163,239
(固定負債)	長期借入金	仙台市に対するもの	コンベンション開催準備資金貸付事業で貸付する資金を借入したもの	12,000,000
	物産会館積立金	物産会館に関するもの	物産会館建設時の什器備品の購入に備えたもの	11,603,735
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	108,204,563
固定負債合計				131,808,298
負債合計				255,971,537
正味財産				386,502,969

# 監査報告書

公益財団法人仙台観光国際協会  
理事長 村山 光彦 様

私、監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容


監事は、法人の役員及び職員に説明を求め、業務及び財産の状況を調査するとともに、平成30年度に係る計算書類及び事業報告等を監査しました。


## 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の執行に関し、不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当法人に係る期間の財産、正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

令和元年5月15日

公益財団法人仙台観光国際協会

監事 小林 寛 

監事 小林 哲也 

平成30年度 資金収支計算書  
 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	3,504,774	3,504,780	△ 6
② 特定資産運用収入	42,657	42,837	△ 180
③ 会費収入	17,755,716	18,071,500	△ 315,784
④ 事業収入	26,612,391	27,832,766	△ 1,220,375
・ 仙台駅東口乗降場収入	18,835,500円		
・ チョロQ等販売収入	4,214,536円		
・ 作並・定義地区観光案内所売店収入	1,906,718円		
・ 国際化事業講師派遣等	967,211円		
・ 物産販売手数料収入	688,426円		
⑤ 補助金等収入	501,908,028	477,411,406	24,496,622
・ 仙台市補助金収入	466,856,651円		
・ 宮城県補助金収入	2,701,000円		
・ 松島町補助金収入	100,000円		
・ (一財)自治体国際化協会補助金収入	500,000円		
・ 民間団体補助金収入	3,000,000円		
・ 仙台市受託料収入	20,300,377円		
・ 山形市受託料収入	8,450,000円		
⑥ 負担金収入	12,276,361	12,147,121	129,240
・ せんだい・宮城フィルムコミッション 負担金収入	6,300,000円		
・ 観光パンフレット広告収入	2,017,200円		
・ コンベンションバック負担金収入	1,166,727円		
・ 案内誘導柱負担金収入	912,000円		
・ 物産パンフレット負担金収入	800,000円		
他			
⑦ 寄附金収入	0	0	0
⑧ 雑収入	38,845	33,192	5,653
事業活動収入計	562,138,772	539,043,602	23,095,170
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	509,546,552	480,227,692	29,318,860
【公益目的事業】			
・ 観光振興に関する事業	60,317,237円		
・ 物産振興に関する事業	3,700,955円		
・ コンベンション推進に関する事業	55,390,852円		
・ 多文化共生・国際交流に関する事業	17,618,700円		
・ 調査・研究・広報・情報発信に関する事業	27,020,931円		
・ 情報提供・交流促進に関する事業	15,230,214円		
他			
【収益事業】			
・ 仙台駅東口乗降場管理運営及び物産販売事業等	13,861,242円		
他			

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費支出 ・法人の管理運営に関する費用	46,517,911	59,727,777	△ 13,209,866
③ 法人税等支払支出	240,500	1,296,900	△ 1,056,400
④ 繰入金支出	0	0	0
事業活動支出計	556,304,963	541,252,369	15,052,594
事業活動収支差額	5,833,809	△ 2,208,767	8,042,576
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入 ・退職給付引当資産等の取り崩し収入	9,608,653	5,714,785	3,893,868
② 貸付金回収収入 ・コンベンション開催準備資金貸付金回収収入 投資活動収入計	2,800,000	0	2,800,000
	12,408,653	5,714,785	6,693,868
2. 投資活動支出			
① 特定資産取得支出 ・退職給付引当資産 9,958,638円 ・減価償却引当資産 1,944,895円	11,903,533	12,703,191	△ 799,658
② 固定資産取得支出	6,338,929	0	6,338,929
③ 貸付金貸付支出	0	0	0
投資活動支出計	18,242,462	12,703,191	5,539,271
投資活動収支差額	△ 5,833,809	△ 6,988,406	1,154,597
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
① 借入金収入 ・仙台市からのコンベンション開催準備資金借入分	6,000,000	6,000,000	0
財務活動収入計	6,000,000	6,000,000	0
2. 財務活動支出			
① 借入金返済支出	6,000,000	6,000,000	0
財務活動支出計	6,000,000	6,000,000	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	△ 9,197,173	9,197,173
前期繰越収支差額	29,644,562	38,841,735	△ 9,197,173
次期繰越収支差額	29,644,562	29,644,562	0